

会員からのお便り紹介 ②

人生100年 次はヨーロッパ100名城

埼玉県 遠藤 晶土(えんどう まさくに)さん

昭和の時代、当時勤めていた企業は全国に販売網を持っていた。営業を担当していたので、顧客の開拓やら集金やらで北海道から沖縄まで主だった都市を歩く事が出来た。そのうち、訪問地の大部分が「城下町」という事に気が付いた。それからは、顧客回りに名を借りた城巡りに精を出すようになった。顧客は居ないけれど、見たい城がある土地では新規開拓に努めもして帳尻を合わせた。平成になって、営業から引退した後も、城巡りは続けた。平成18年4月6日に日本城郭協会は「日本100名城」を選定し、翌19年6月にスタンプラリーを開始した。旅行中の青森県の根城でそれを知って、そこからラリーに参加した。

平成26年2月6日、かねての予定通り百城目のスタンプを江戸城で捺し、その足で城郭協会を訪れ、スタンプ帳に「祝登城完了！第433番目」の認定印を頂き、後程、立派な盾もいただいた。

さて、と思う間もなく、平成29年4月6日「続日本100名城」が発表され、スタンプラリーも始まった。あれから10年、私は老齢、且つ、両足骨折の身障者になったが、前回同様、有難い友人たちの支援で、既に50に近い城のスタンプを押印している。前回より遥かに「名城」に制定されたことに城が喜び、誇りに思っている様子を各地で実感している。それらは、日本100名城の時と同じく私のホームページにアップしている。

(<https://100shirowoyuku.net/>を参照乞う)

「続日本100名城」は知らない城が多い。城探訪歴半世紀に及ぶ私をもってしても存在さえ知らない城が目白押しだ。これには、大いにプライドが傷つけられた。

そして、時代は「令和」となった。人生100年の時代。「日本100名城」「続日本100名城」を終えたら、「ヨーロッパ100名城」に挑もう。あと私には20年の余命がある。その間に、お金も、体力も、蓄積しよう。と、考えている。